

第三者認証GAPによる効果と課題

本多めぐみ

(宮城県農業・園芸総合研究所)

Effect and problem of the third-party certification GAP (Good agricultural practice)

Megumi HONDA

(Miyagi Prefectural Institute of Agriculture and Horticulture)

1 はじめに

国及び宮城県では、GAPの取り組みを普及させることを目指している。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準については、JGAP及びGLOBAL G. A. P. 認証を受けて生産された農産物と定められており、第三者認証GAP取得を目指す経営体の増加が見込まれるが、第三者認証GAPを取得している農場は、宮城県内で20経営体とまだ少ない(2018年6月時点)。また、GAP導入により従業員の意識が高まり、作業遅延の減少や品質の向上といった経営改善の源泉となっており¹⁾、GAPの取り組み年数が長いほど、販売や品質の改善、コスト削減等に高い効果が発揮されていることが明らかになっている²⁾が、被雇用者に対する調査は行われていない。そこで、宮城県内の第三者認証GAP取得農場の経営者及び被雇用者を対象に調査し、GAP導入効果や課題等を明らかにした。

2 試験方法

調査対象は、宮城県内の第三者認証GAP取得農場(9社)の経営者及び被雇用者であり(表1)、調査期間は2017年6月～12月である。経営者へのアンケートでは、被雇用者意識、生産、コスト、品質・収量、販売、信用・ブランドに係わる項目を設定した。経営者・被雇用者へのアンケートの調査項目は、被雇用者の責任感、自主性、被雇用者間の意思疎通、作業効率とし、被雇用者へのアンケートの調査項目は、経営者との意思疎通、教育訓練、職場環境の衛生面、作業内容のルール化とした。経営者への聞き取り調査の調査項目は、GAP取得のきっかけ、取得目的、取得前後の課題、メリット等である。なお、認証区分が穀物の農場を「穀物」、青果物で認証期間が3年以上の農場を「青果物3年以上」、青果物で認証期間が3年未満を「青果物3年未満」とした。

3 試験結果及び考察

(1) 経営者アンケート調査(表省略)

上記項目について5段階評価した結果、全体で改善度が高い項目は、被雇用者の作業効率(被雇用者

意識)、作業の遅延(生産)、農薬の在庫(コスト)、総合的な生産コスト(コスト)、販路拡大(販売)であった。全体で改善度が低い項目は、欠品(生産)、販売単価(販売)、農産物のブランド力であった。(2)経営者・被雇用者アンケート調査(表2)

経営者による被雇用者評価、被雇用者による自己評価における、上記項目の5段階評価の結果、青果物3年以上では、経営者評価より被雇用者の自己評価の方が改善度が高い傾向であり、青果物3年未満では、被雇用者の自己評価より経営者評価の方が高い傾向であった。被雇用者の自己評価では、青果物3年以上と青果物3年未満で差がみられ、青果物3年以上の改善度が高かった。

(3) 被雇用者アンケート調査(表3)

上記項目について5段階評価した結果、青果物3年以上と青果物3年未満で差がみられ、青果物3年以上における評価が高かった。項目別に見ると、「職場環境が衛生的に保てるよう努力している」は多くの農場で高い傾向であった。

(4) 経営者聞き取り調査結果(表4)

GAP取得のきっかけは外部からの勧めが多く、取得目的は会社の基盤強化、国内(国際)情勢の影響、社員教育のツール等であった。取得目的と取得前の課題で、データの見える化、社員教育、5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)のツールが共通事項であった。また、メリットから取得前の課題である作業効率の向上、社員教育、5S等がGAPを実践することにより課題解決され、人材育成に効果的であることが示唆された。GAPを実践することによって被雇用者の意識、5Sが改善されるが、改善された状態を維持・継続していくことが課題であった。

4 まとめ

GAP取得農場では、作業効率の向上、社員教育、5S等がGAPを実践することにより課題解決され、人材育成に効果的であること、さらに資材費及び人件費のコスト削減、収益増加等のメリットがあることが明らかとなった。しかし、改善された状態を維持・継続していくことがGAPを実践し続けていく上で更なる課題であることが示唆された。また、青果物認証3年以上の農場では、被雇用者の意識が向上することが示唆されたため、GAPを継続することに

より、GAPの効果がより大きくなることが示唆された。

引用文献

1) 田口光弘．2015．雇用型法人経営におけるGAP導入を契機とした経営改善について．関東東海農業

経営研究．105：7-14．

2) 若林勝史・田口光弘．2013．GAP導入農場における農場管理の実態と経営改善効果-GAP導入農場による経営改善効果に関するアンケート調査結果-．北海道農業研究センター農業経営研究．109：1-25．

表1 調査対象の第三者認証GAP取得農場一覧

区分	GAPの種類	認証年数	種類	品目	品目数	面積 (ha)	労働力構成			法人設立年
							役員 (名)	社員 (名)	従業員・パート (名)	
1 A社	穀物	8年	穀物	玄米	1	94	5	2	2	2004年
2 B社		1か月	穀物	玄米	1	57	2	17	4	2001年
3 C社		6年	青果物	施設野菜	複数	3.5	3	8	38	2006年
4 D社	青果物 認証3年以上	3年	青果物	施設野菜	複数	1.1	3	11	18	1998年
5 E社		3年	青果物	施設野菜	複数	3.6	5	10	44	2011年
6 F社		1年	青果物	施設野菜	1	0.85	3	4	6	2012年
7 G社	青果物 認証3年未満	6か月	青果物	露地野菜	1	8.0	8	0	17	2013年
8 H社		0か月	青果物	施設野菜	1	3.0	5	10	25	2004年
9 I社		0か月	青果物	施設野菜	複数	1.0	1	0	10	2013年

表2 被雇用者の責任感、自主性、意思疎通、作業効率の改善度（経営者及び被雇用者による評価）

	穀物				青果物3年以上								青果物3年未満							
	A社		B社		C社		D社		E社		F社		G社		H社		I社			
	経営者	被雇用者 (n=3)	経営者	被雇用者 (n=4)	経営者	被雇用者 (n=40)	経営者	被雇用者 (n=22)	経営者	被雇用者 (n=5)	経営者	被雇用者 (n=11)	経営者	被雇用者 (n=6)	経営者	被雇用者 (n=30)	経営者	被雇用者 (n=7)		
被雇用者間の意思疎通	責任感	5.0	4.7	4.0	4.3	4.0	4.4	4.0	4.7	3.0	4.8	5.0	4.0	4.0	4.2	4.0	4.5	4.0	4.4	
	自主性	5.0	4.7	4.0	4.5	3.0	4.2	4.0	4.5	3.0	4.8	5.0	3.9	4.0	3.8	4.0	4.3	4.0	3.3	
	被雇用者間の意思疎通	5.0	5.0	4.0	3.8	3.0	3.9	3.0	4.0	4.0	4.8	3.0	3.8	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	3.7	
	作業効率	4.0	4.3	4.0	4.3	4.0	4.1	4.0	4.3	4.0	4.2	4.0	3.8	5.0	3.8	4.0	3.6	3.0	3.6	
	平均	4.8	4.7	4.0	4.2	3.5	4.1	3.8	4.4	3.5	4.7	4.3	3.9	4.3	4.0	4.0	4.1	3.8	3.8	
被雇用者の区分毎の平均		4.4 ab				4.4 a				3.9 b				4.1						

※異なる英小文字間は10%水準で有意差あり (Steel-Dwass法検定)

※経営者と被雇用者で比較して高い方かつ改善度4.0以上は太字

※5段階評価：5改善した、4まあまあ改善した、3どちらともいえない、2あまり改善しない、1改善しない

表3 意思疎通、教育訓練、職場環境の衛生面、作業内容のルール化の評価（被雇用者による評価）

	穀物		青果物3年以上			青果物3年未満			
	A社 (n=3)	B社 (n=4)	C社 (n=40)	D社 (n=22)	E社 (n=5)	F社 (n=11)	G社 (n=6)	H社 (n=30)	I社 (n=7)
経営者と意思疎通しやすい	5.0	3.5	4.0	3.5	4.8	3.7	3.5	3.4	3.3
教育訓練を受けている	4.0	4.8	3.5	4.1	4.4	3.9	3.8	3.2	3.1
職場環境が衛生的に保てるよう努力している	5.0	4.3	4.2	4.6	4.4	3.9	4.3	4.2	4.1
作業内容がルール化しているので分かりやすい	3.7	4.3	4.1	4.4	4.2	3.9	3.5	3.8	3.6
平均	4.4	4.2	3.9	4.1	4.5	3.9	3.8	3.6	3.5
区分毎の平均	4.3 ab		4.2 a			3.7 b			

※異なる英小文字間は10%水準で有意差あり (Steel-Dwass法検定)

※5段階評価：5よくあてはまる、4まあまああてはまる、3どちらともいえない、2あまりあてはまらない、1あてはまらない

表4 GAP農場における取得のきっかけ・目的、課題、メリット、現在の課題（経営者聞き取り）

	きっかけ	目的	認証前の課題										メリット										認証後の課題						
			課題の有無	GAP認識不足	農場のルール	データの見える化	人材育成	被雇用者の責任感	被雇用者の作業効率	被雇用者の指示待ち	5S	被雇用者の労働安全	経営改善	売上増加	収益増加	収量増加	コスト削減（資材費）	コスト削減（人件費）	被雇用者の作業効率	被雇用者の労働安全	社員教育	衛生管理	5S	その他	現在の課題の有無	作業工程管理手法の向上	被雇用者意識	被雇用者の自主性	5S
穀物 3年以上	A社	○		○			○				○									○				○				○	
	B社	○	○	○	○	○				○	○													○	○	○			
	C社	○		○	×	-	-	-	-	-	(○)	-	-	-	(○)			○						○	○	○			
	D社	○	○		○	○					○	○				○			○					○				○	
	E社	○			○	○					○											○		○	○				
青果物 3年未満	F社		○		○	○	○				○			○	○			○	○	○	○	○		○				○	
	G社	○			○	○	×	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○				○					
	H社			○	○		○	○			○	○		○	○	○	○	○	○	○				○				○	
	I社		○	○		○		○	○		○					○								○	○				○

※有り及び該当する場合「○」、無しを「×」、該当なしを「-」とする。